

**製品名: RGS1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17088**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RGS1
別名	RGS1; 1R20; BL34; IER1; Regulator of G-protein signaling 1; RGS1; B-cell activation protein BL34; Early response protein 1R20
遺伝子 ID	5996.0
SwissProt ID	Q08116
免疫原	抗血清はヒト RGS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 118-167

**背景**

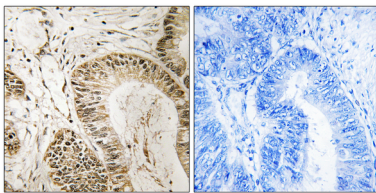
この遺伝子は、G タンパク質シグナル伝達ファミリーの調節因子をコードしています。このタンパク質は細胞膜の細胞質側に位置

し、RGS ドメインと呼ばれる 120 アミノ酸からなる保存されたモチーフを有しています。このタンパク質は、活性化された GTP 結合型  $G\alpha$  サブユニットに結合し、GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として作用することで、G タンパク質のシグナル伝達活性を減弱させ、GTP から GDP への変換速度を高めます。この加水分解により、 $G\alpha$  サブユニットは  $G\beta/\gamma$  サブユニットヘテロダイマーに結合し、不活性な G タンパク質ヘテロトリマーを形成し、シグナル伝達を終結させます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: G タンパク質  $\alpha$  サブユニットの GTPase 活性を上昇させ、それらを不活性な GDP 結合型へと誘導することで、シグナル伝達を阻害します。このタンパク質は、B 細胞の活性化および増殖の調節に関与している可能性がある。、誘導: 複数の B 細胞活性化シグナルにตอบสนองして、PTM: リン酸化される可能性がある。タンパク質キナーゼによって機能的に調節される可能性がある。、類似性: RGS ドメインを 1 つ含む。、組織特異性: B 細胞特異的。B 細胞および慢性リンパ性白血病 B 細胞における発現は比較的低い、非ホジキンリンパ腫やヘアリー細胞白血病などの他の悪性 B 細胞では、発現は恒常的に高い。、

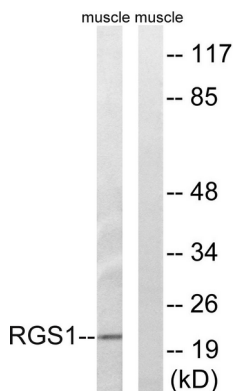
## 研究分野

カルシウムシグナル伝達; カルモジュリン経路; シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; 調節因子

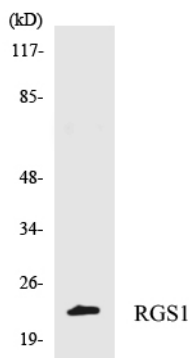
## 画像データ



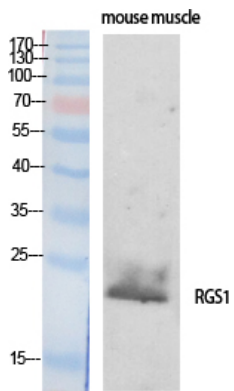
RGS1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



RGS1 抗体を用いたマウス筋細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RGS1 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



RGS1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析